

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2000-72731 (P2000-72731A)
 【公開日】平成 12 年 3 月 7 日 (2000.3.7)
 【出願番号】特願 平 10-246344
 【国際特許分類第 7 版】

C 07 C 229/50
 A 61 P 25/00
 A 61 K 31/198

【F I】

C 07 C 229/50
 A 61 K 31/00 6 2 5
 A 61 K 31/195 6 0 3

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 6 月 29 日 (2005.6.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0026
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0026】

ここで塩基性条件下加水分解とは、例えば水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水酸化バリウム等の塩基を用い、例えばメタノール、エタノール、エチレングリコールなどのアルコール類、例えばテトラヒドロフラン、ジエチルエーテルなどのエーテル類、例えばトルエン、ベンゼンなどの炭化水素類、例えばジクロロメタン、クロロホルムなどのハロゲン化溶媒、水、又はこれらの混合溶媒等の不活性溶媒中反応することを指す。また、酸性条件下加水分解とは、例えば塩酸、臭化水素酸、硫酸等の酸を用い、例えばメタノール、エタノール、エチレングリコールなどのアルコール類、例えばテトラヒドロフラン、ジエチルエーテルなどのエーテル類、例えばトルエン、ベンゼンなどの炭化水素類、例えばジクロロメタン、クロロホルムなどのハロゲン化溶媒、例えばアセトン、エチルメチルケトンなどのケトン系溶媒、水、又はこれらの混合溶媒等の不活性溶媒中反応することを指す。酸化剤とは、例えば m - クロロ過安息香酸、過酢酸などの有機過酸化物、例えば過ヨード酸ナトリウム、オキシソ[®]ン(登録商標)などの無機過酸化物、過酸化水素などであり、例えばメタノール、エタノールなどのアルコール類、例えばトルエン、ベンゼンなどの炭化水素類、例えばジクロロメタン、クロロホルムなどのハロゲン化溶媒、例えばアセトン、エチルメチルケトンなどのケトン系溶媒、アセトニトリル、N , N - ジメチルホルムアミド、酢酸、水、又はこれらの混合溶媒等の不活性溶媒中にて反応させる。